

## 新浜地区（中央ポンプ場）大規模雨水処理施設整備事業計画（福山市）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>中央ポンプ場は、本市中心部の合流区域の浸水対策事業として、増補管となる中央幹線の築造に併せ2011年度より、一部供用開始している。</p> <p>2017年度に中央幹線を延伸したことによる流入量の増加に対応するために、大規模雨水処理施設整備事業により、排水機能を適切に確保し、当該地域の浸水安全度の向上に資することを目的とする。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード整備による整備水準の目標：42mm/h (1/7確率降雨)</li> </ul> <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i )生命の保護の観点 : 当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設 134箇所の床上浸水を防止する。</li> <li>ii )都市機能の確保の観点 : 医療機関等の浸水被害を軽減する。</li> <li>iii)個人財産の保護の観点 : 家屋の浸水被害を軽減する。</li> <li>iv)その他 : 特になし</li> </ul> <p>③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i )ハード対策</li> <p>施設整備により42mm/h (1/7確率降雨) の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。</p> <li>ii )ソフト対策及び自助</li> <p>施設整備で対象とする降雨量を上回る42mm/h (1/7確率降雨) の降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による止水板設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害の軽減を図る。</p> </ul>

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有 (平成 年 月 日策定済み)</li> <li>・<u>策定予定</u> (令和8年3月末策定予定)</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水管渠の整備 排除面積 17.51ha</li> <li>・中央ポンプ場増設 排水能力 600m3/分</li> </ul>
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>

	ソフト 対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの作成・公表
		下水道管理者 以外	・該当なし
自 助	ハード 対策		・止水板の設置
	ソフト 対策		・地区防災計画の作成と訓練の実施

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

年度計画（百万円）（税込）

名称	内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
中央 ポンプ場	雨水管渠	282.6	452.2	146.8			881.6
	土木工事	650.0	1,661.0				2,311.0
	建築工事			294.1	294.1		588.2
	機械設備工事				1,571.3	1,571.3	3,142.6
	電気設備工事				87.9	87.9	175.8
計		932.6	2,113.2	440.9	1,953.3	1,659.2	7,099.2

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>&lt;事業評価の内容&gt;</p> <p>浸水被害の軽減便益：32,930 百万円が削減される。</p> <p>B／C：1.4</p> <p>経済的内部收益率：6.1%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供及び建築物内部の浸水を防止する止水板の設置により、浸水被害の軽減を図る。</p>
放流先河川との調整状況	特になし
その他	特になし

